

「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail: kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jpHP: <http://kibou-donguri.org>

障害者グループホームは 「かけがえのない住まい」

障害のある方々が地域で暮らす場所の一つとして「障害者グループホーム（以下GH）」があります。障害者のGHは「家庭的な雰囲気でもらせる住まい」であることが大切とされています。四街道市内でも、少しずつではありますが、その数は増えてきています。

普通の戸建ての住宅を利用して、2人～数人の仲間が暮らしているGH、1棟あたり数十人が暮らせる大型のGHの他、アパートなどの集合住宅の1室を利用したサテライト型GHなどもあります。GHの運営は、社会福祉法人やNPO法人、株式会社など民間の様々な法人・団体が担っています。

障害があっても、誰もがそうしているように地域で普通に暮らすことは、人として当然の権利です。そして、親元から離れて、或いは施設や病院から出ても、必要な支援が受けられる「住まい」があれば、ひとりの人間として地域で暮らすことができるという方は多くいらっしゃいます。GHの形態は様々ありますが、どのGHにも支援者としての職員がいます。職員は、入居者の食事の提供や日常の健康・金銭の管理の援助、日常生活に必要な相談、また、重い障害であれば入浴や排せつの支援も行います。

私どもNPO法人希望が運営している「グループホームだんらん」は、運営するこちらの要望に応じてオーナーさんに建てていただく『オーダーメイド方式』で建てられた、男女混合定員6名のGH。

GHとしては、比較的家賃は高いのですが、より一層自分らしい暮らしができるよう、各居室に独立した浴室やトイレが備わっています。



グループホームだんらん（四街道市栗山）

現在入居されている方は、日中は、どんぐり工房等の作業所に通所の方が一番多く、一般企業で勤務している方（勤続25年）、新たにB型作業所に通い始めた方もおられます。

「グループホームだんらん」も、おかげ様で昨年11月に5年目を迎えることができました。これまで、温かく見守ってくださった皆様のご理解、ご協力に感謝しております。

障害のある方にとって、グループホームは「かけがえのない住まい」であることをさらに多くの方々にもご理解いただき、安心して暮らせる住まいが増えることを願います。

（グループホームだんらん 管理者 清水真奈美）

地域活動支援センターどんぐり工房

商 品 紹 介

ボックスティッシュケース



ボックスティッシュケースは、壁に吊り下げられるように上に紐をつけました。上と下で、布を合わせるのが難しかったです。ずれると見た目がおかしくなるので、布が合わさると嬉しいです。(Y.I)

ブックカバー



ブックカバーは縫い目が少しでもズレるとカバーがブカブカになってしまうので、本の大きさに合わせて布を縫うのが大変です。完成した時に本がカバーの中にピッタリ入った時はとても嬉しいです。(JE1)

市役所販売

上記商品の他に、ふきん、鍋敷き、巾着、ティッシュケース、クッキー、パン等手作りして、市役所の他、イベント等で販売しています。

市役所販売 毎月 第1 第3 火曜日 11:00~13:30

場所：市役所エントランス

皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



「地元の人」が冊子になりました

【作者コメント】

長い時間かかりましたが、ようやく「本」という形になりました。

ご希望の方は、お問い合わせ下さい。(T)

お問い合わせ先：地域活動支援センターどんぐり工房

電話番号 043-421-6645

いどの葉のこーなー

「無関係な二人」

(後編)

別々の場所で同じだけ歳をとった私と彼女は
もう五三だ。

ツツい状況では、私の分の幸せが同量だけ彼女
のもとに加算されるのだとか空想してみる。それ
ならどんな苦しいことだって耐えて見せようと、
と。

でも本当は私と彼女の間にはもはや何の関係
もない。何をしてもしなくても、彼女のもとには
届かない。

(おーくま)

花のない 桜の満開 もう来ない

(おーくま)

いきている いきているから いきている

(おーくま)

人はみな 生まれながらの 死刑囚

(おーくま)

どんぐりに

行く日は少し

毎朝に

検温するは

健康維持に (心)



地元の人 九九回

(地元の人 A アナウンス B)

B「私とは洞察を拒むなにものである、感性とか理性という心理からも離れていた、私を拘束したものはあまりにも身体的なものでした、孤独な心理にも悩まされましたが身体の拘束は酷かった、逃げ出すことなどできるわけもない、個人的な錯乱、今ならそうも言える、ですが私はまだそうは言い切れない、まだ結果を見ていないからです、気分ではない、思想というわけでもない、頑強な現実がひっくり返らなければ私は納得できずにいる、ですがそんなことがあり得るでしょうか、私はたまらず社会に踏み潰されるだけです、ただ考えることもあります、事件や事故が報道される、それが社会というものでしょうか、国会とか行政府、或いは裁判所が社会なのでしょう、いえ、もっと抽象的な…では社会は誰を認識するでしょう…たぶん誰も…荒唐無稽な話をしているわけではない、真剣に考えているのです、私は個人的な錯乱にとりつかれた、私自身から離れることはとうとうできなかつた、いえ、いまだに別なありようがある、そうも思うのです、今まで苦心してきたからには夢を見るほどの世界があるはず、飯が喰えなければ私はたちまち破綻する、それは知っているのですが…空想を楽しんで

いるわけではないのです、そこまで遊んでいる余裕があるわけではありません、いえ、貴方様に行っても仕方ないですな、仕事がまだ残っている、あなたの方の相手をしなければならぬ、仕事です、私は働かねばならない、飯を喰うため、眠る場所を得るため…生きがい…先ほど話した通り私の棲む家を建てる、それも広大な土地に、とりあえず私に必要な夢をかなえなければなりません、先ず第一に私のすむ場所を確保しなければならない、次に飯です、農業は大変でしょうけれど自分の為です、働きますよ、楽しみです、何を作るか、この歳になってようやく夢の一部がかなえられる、もうじきの話です…思わず赤提灯をのぞき客がないことを確かめた、借間にそのまま帰れなかつた、誰かを頼りに思ったわけではないけれど酒を飲まなければやりきれない、一人で飲めばよいではないかと言われればその通りであつたけれど外で飲まなければならなかつた、落ち着ける場所を喪失したのです、その時の気分は言い様がない、犯罪者が世間の中で逃げ惑うような、酒を飲まなければやりきれなかつた、ビールを二杯飲み借間へ帰りました、その日男は現れなかつた、切羽詰まっていた、恐怖が隣に棲んでいるかのようでした、数日後私は仕事の帰り道白い顔を見るのです」

(丁)

精神に障がいのある方へ

NPO 法人 希望 地域活動支援センターⅢ型

どんぐり工房

のご紹介

お家から

一歩外へ

出ませんか？

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。
やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。

昼食作り

クッキー・パン等
製造

手工芸品の製作

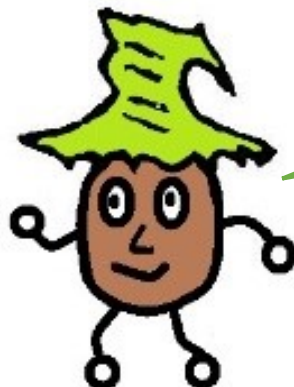
シール貼り

市役所・イベント
販売

おしゃべり

書道

農園作業



これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジェンガ・ダイヤモンド等）
絵を描いたり何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

どんぐり工房の活動時間および定員

開所日 月～金曜日

（土・日・祝祭日お休み）

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

皆様の見学を心よりお待ちしております。

見学大歓迎

アクセス：四街道駅北口 徒歩1分

連絡先：四街道市四街道1-11 田中ビル3F

TEL：043-421-6645